

令和元年度 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会 第1回会議 議事録

- 開催日時：2019年（令和元年）6月12日（水）午前10時～11時30分
- 開催場所：市役所5階第1会議室
- 出席委員：伊藤裕夫委員長、富岡幸一郎副委員長、山崎稔恵委員、奥野花代子委員
- 欠席委員：無し
- 事務局：文化スポーツ課 阿万野課長、土屋係長、鬼原主任、浅川主事
- 会議の公開・非公開：公開
- 傍聴者数：0名
- 議題：
  - 1 平成30年度事業に関する評価の対象、方法について
  - 2 令和元年度事業について
  - 3 その他
- 資料：
  - 【事前送付資料】
  - 資料2 平成29年度評価報告書
  - 【当日配付資料】
  - 次第
  - 名簿
  - 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会規則
  - 資料1 平成30年度事業に関する評価報告書 対象事業一覧（案）（差替え）
  - 資料3 平成30年度 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会 第二回委員会 議事録（案）
  - 資料4 今後の予定について
  - 資料5 令和元年度事業について
  - 参考資料1 逗子アートフェスティバル2018フリーペーパー
  - 参考資料2 逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書（抜粋）（平成29年度分）

■内容

1 開 会

定数確認  
事務局紹介  
資料の確認

<委員長>

議事に入る前に、平成30年度第2回委員会の議事録（案）について承認するか諮る。内容について、承認してよろしいか。

<全委員>

（異議なし）

〈委員長〉

第2回委員会の議事録について、案のとおり内容を確定する。

〈事務局〉

今回の会議の議事録から、メール等で確認・修正し、内容が確定した段階でホームページに公開させていただきたいが、よろしいか。

〈全委員〉

(異議なし)

## 2 議 事

(1) 平成30年度事業に関する評価の対象、方法について

〈委員長〉

議題1「平成30年度事業に関する評価の対象、方法について」、事務局から説明をお願いする。

〈事務局〉

資料1、2をご覧ください。

平成29年度に評価報告書の様式を変更し、逗子市文化振興基本計画（以下、「基本計画」という。）の6つの施策の柱ごとに評価シートを作成する様式とした。資料2は、新しい様式で作成した平成29年度の評価報告書である。この様式に沿って、平成30年度の評価対象事業（案）をまとめたものが、資料1になる。

平成30年度の評価についても、引き続き、平成29年度同様の様式で進めてよいか、ご審議いただきたい。

〈委員長〉

平成29年度に、それまで事業毎に行っていた評価の方法を大きく変更し、基本計画の体系に従って行うこととした。基本計画は、毎年度、市の総合計画・基幹計画・個別計画の3つの計画の進行管理に従って市が自己評価を行っており、評価もそれに合わせる形にしたわけだが、評価の過程で、「逗子アートフェスティバル」が複数の柱について度々出てくるので、以前の事業ごとの評価と6つの施策の柱に沿った評価との関係性が分かるようにしてほしい旨の意見が、前回の委員会で出ていたと記憶している。

そのことも踏まえ、平成30年度の評価の方法について、皆様から意見をいただきたい。

〈富岡委員〉

評価シートについて、平成30年度は変わらないのか。

〈事務局〉

昨年度大きく評価方法を変えたが、その方法でよろしいか、改めてご審議いただきたい。

〈委員長〉

平成30年度の文化振興事業について、事務局から説明をお願いする。

〈事務局〉

資料1に沿って説明する。

(資料説明)

〈奥野委員〉

資料1の(5)③「(仮称) 逗子アーカイブス」の(仮称)はいつとれるのか。未だ計画段階であって(仮称)を使うのならばよいが、既に実施段階であるなら(仮称)は相応しくない。

**<事務局>**

事業としてはまだ計画段階で、基本計画上でも平成31年度(令和元年度)までは構築に向けた検討をするものとしている。資料1の対象事業一覧(案)では、企画課が所管の「逗子フォト事業」を「(仮称) 逗子アーカイブス」に関連する事業として挙げているが、「(仮称) 逗子アーカイブス」そのものは未だ実施段階ではない。この事業の計画・実施の方向性等については、逗子市文化振興基本計画策定・推進会議で検討しているが、市の財政状況等を鑑み、企画課の「逗子フォト事業」をまず推進し、写真のアーカイブも含めた「(仮称) 逗子アーカイブス」はその後に、ということになっている。

**<委員長>**

当委員会は基本計画の評価を担っているので、例えば、(仮称)がいつまでもついたままであることの是非については評価できる。実際、この事業は相当前から(仮称)であるので、そろそろはっきりさせた方が良く、という意見を出すことはできる。

**<富岡委員>**

基本計画上では、平成32年度(令和2年度)からは「構築」の段階となっている。

**<奥野委員>**

資料1の(6)①について「該当事業なし」とするのは、全く手を付けていないような印象を受ける。内部で検討したが事業化までは至らなかった、というような表現でよいと思うがいかがか。

**<事務局>**

(4)①に記載している社会教育課との意見交換については該当すると思うので、(6)①に再掲する。

**<委員長>**

(6)①は昨年度も「該当事業なし」であった。事業化に至らなくても関連することは記載してほしい。

**<富岡委員>**

緊急財政対策について、改めて説明してほしい。

**<事務局>**

平成28年度の決算状況が悪化し、平成30年度当初予算に7億円の財源不足が生じる見込みとなったことを受け、これまで通りすべての事業を実施することは困難となったことから、平成29年度に緊急財政対策本部を設置し、平成29年度から令和4年度までの財政対策プログラムを策定した。平成30年度と令和元年度は集中対策期間に当たる。

**<富岡委員>**

逗子アートフェスティバル2018について、行政からの財政的支援が無くなって市民が自ら実施に向けて動いたということは評価できるが、財政的支援が無いことが恒常的になってしまうと、行政としては良くない。負担金のカットは、あくまで緊急避難的な財政措置と考えてよいのか。

**<事務局>**

その通りである。財政対策プログラムにおいて、平成 30 年度と令和元年度の 2 年間については、集中対策期間としてイベント的事業については財政措置をしないことが決まっている。令和 2 年度については、逗子アートフェスティバル 2020 にはトリエンナーレ年でもあることから、財政的支援を復活するという方針が出ている。

#### <委員長>

資料 1 の対象事業一覧に「備考欄」を設け、平成 29 年度との比較を記載してほしい。また新規の内容についてはその旨を記載してほしい。

また、緊急財政対策により事業の予算がゼロになったことによる影響について、所管課としての見解と、委員会としての評価ができるようにしてほしい。評価シートの中に特記事項として入れ込むのが良い。

#### <山崎委員>

事業として結実してはいないが事業化に向けて取り組んだ内容やプロセスも含めて評価する、という姿勢でよいか。

#### <委員長>

それで良い。対象事業一覧には、完全に民間の文化活動に関する内容も含まれているが、評価はしなくても、市の文化振興にかかる内容として触れておく必要がある。

#### <山崎委員>

「逗子アートネットワークの設立」については、具体的な活動内容についても示していただかないと評価が難しい。また、社会教育課との意見交換については、(6) ①にも盛り込むということであるが、もし他の事業について同様のことがあれば記載してほしい。

#### <事務局>

逗子市文化協会の取組みで、子育て支援課（体験学習施設スマイル）からの委託で、子どもを対象とした伝統文化講座を行っている。そうした情報の共有は課間で行っているので、記載する。

#### <富岡委員>

文化振興のための体制整備と連携は非常に重要である。逗子市は比較的進んでいる方だとは思いますが、更に推進してほしい。

#### <委員長>

文化芸術振興基本法の一部改正（文化芸術基本法）でも「文化芸術の推進に係る体制の整備」を謳っているように、文化振興のための体制の整備と連携は重視されている。文化スポーツ課は経済観光課と同じセクション（市民協働部）であるので、文化と観光とのつながりに関しても何らかの連携があるのではないか。そのことについても記載してよいと思う。

「(仮称) 逗子アーカイブス」についても、もう少し検討に関する情報がほしいところである。

#### <事務局>

「(仮称) 逗子アーカイブス」の位置づけが明確でないことは、逗子市文化振興基本計画策定・推進会議でも指摘されているところであり、改めて庁内でも議論していきたい。

#### <委員長>

平成 29 年度の「逗子アートフェスティバル 2018」のより詳細な報告を資料として出してほしい。

**<事務局>**

委員の評価の際に準備させていただく。

**<委員長>**

先日、葉山芸術祭の参加団体の会合に行ったが、逗子アートフェスティバルは分かりにくい、参加していいのかなのか迷っているという話があった。分かりにくい、という感覚が市民の方にあるようだ。

**<事務局>**

平成30年度は、逗子アートネットワークは自分たちの企画運営に手いっぱい、市民が参加する自由企画のフォローに十分手が回らなかったという反省があった。そこをどのように今後整理していくかが課題である。

**<委員長>**

逗子アートフェスティバル実行委員会やプロデューサーの自己評価も参考としてであると、非常にわかり易くなると思う。

報告書の様式について、平成29年度同様の、所管課で実施結果と自己評価をまとめ委員評価を記載する、という形でよいか、日程的にもご意見があればこの場でも出していただきたい。

**<委員長>**

今後の予定について説明をお願いします。

**<事務局>**

資料4をご覧ください。

(資料説明と次回日程について調整)

第2回委員会は、8月21日(水)10時～とさせていただく。事前資料送付は8月14日(水)までに発送する。会場等は後日連絡をする。

(2) 令和元年度事業について

**<委員長>**

議題2「令和元年度事業について」、事務局から説明をお願いします。

**<事務局>**

資料5をご覧ください。

文化プラザホール維持管理事業については、指定管理第二期の2年目になる。平成29年度当初予算をベースに、緊急財政対策に伴い指定管理料を低減している。ただし、令和元年10月からの増税分はプラスしている。

文化プラザホール整備事業については、ホール・図書館棟長期改修計画作成業務委託を行う。公共施設整備計画に基づき、躯体調査を行い長期の改修計画を策定するためのものである。また、さざなみホールピアノオーバーホールについては、利用頻度が高く、弦が切れるなどトラブルが増加していたさざなみホールのグランドピアノを整備するものである。

文化振興活動事業については、金額の大きい予算措置は無い。

逗子アートフェスティバルについて、負担金が予算化されなかった。平成30年度と令和元年度の2年間の、財政の集中対策期間においては、イベント的的事业には予算措置をしないという前提に基づいている。逗子アートネットワークについては、令和元年度から新たに加

わったメンバーも多く、およそ50人程度が毎回ミーティングに参加し、今週末6月16日(日)にもミーティングを予定している。「みんなで決定するフラットな組織」での企画運営を目指している。現在実施が決定しているイベントとしては、10月26、27日の「池子の森の音楽祭」である。平成30年度はクラウドファンディングを実施したが、今年度は実施しないことになっており、財源確保の方法について検討中である。ただし「池子の森の音楽祭」については企画者の自主財源で行う意志が強く、施設予約の関係から実施日を決定した。

アウトリーチについては、文化プラザホール指定管理者による「アート便」を引き続き行う。

その他、東京2020オリンピック・パラリンピックの関係で、スペインセーリングチームの事前キャンプ地となったことから、逗子市はスペインのホストタウン登録をした。8月12日には選手と関係者を招いての市民との歓迎会を実施する予定である。

「(仮称)逗子アーカイブス」の構築については、企画課の「逗子フォト事業」を引き続き実施するほか、逗子市文化振興基本計画策定・推進会議において、方向性について話し合っていく予定である。

#### <奥野委員>

逗子アートフェスティバルでボランティアとして活動している人たちには保険は掛けられているのか。

#### <事務局>

ボランティアについては市民活動補償制度、来場者には逗子アートネットワークで独自に保険をかけている。

#### <委員長>

アウトリーチについて、以前から福祉施設等での実施について指摘しているが、文化プラザホール指定管理料が減額されるなか困難とは思いますが、ホールに任せるだけでなく福祉部との連携等により実施できないか。

#### <事務局>

介護事業所のケアマネジャーの連絡会に文化プラザホール指定管理者の担当者が出向き現場の方から意見を聞く等して、ニーズの把握とアウトリーチの可能性を探り、実施に向けて連携を深めていく、という報告を受けている。

### (3) その他

#### <委員長>

その他について説明をお願いします。

#### <事務局>

参考資料2をご覧ください。

「逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書」毎年度教育委員会が作成しているものだが、この点検・評価は本委員会が担うことになっている。平成29年度分については、評価報告書の意見を基に事務局でまとめた。平成30年度分についても、そのようにさせていただきたい。

#### <委員長>

昨年度に引き続きなので特に問題ないと思うが、いかがか。

〈全委員〉

(異議なし)

〈委員長〉

本日の会議全体を通して、意見等あるか。

〈奥野委員〉

新市長は、文化振興についてどのような姿勢なのか。

〈事務局〉

逗子アートフェスティバルについては、市長就任以前に個人として協力していただいていたこともあり、とてもよく理解している。逗子市文化協会についても、財政的支援が無い中自力で活動が続けているが、集中対策期間の2年間に限界であり、その後は支援の復帰が必要であることにも理解を示している。

〈委員長〉

「(仮称)逗子アーカイブス」と「行政内での連携」の2件については、令和元年度中に何らかの進捗があることをお願いしたい。

神奈川県立近代美術館葉山との連携のような、近隣市町との交流・連携の拡大について、検討していることはあるか。

〈事務局〉

逗子アートネットワークから、関東学院大学の学生の皆さんへのボランティア参加を呼び掛けたいという話がある。具体的な活動等については、今後逗子アートネットワークの中で詰めていく。委員の皆様にはご協力をお願いしたい。

〈富岡委員〉

関東学院大学内の社会連携センターを窓口として相談してもらえると動きやすい。

〈委員長〉

会場案内より、ワークショップ等でのボランティアの方がいいと思う。

〈山崎委員〉

逗子在住の教員等にも協力してもらえるのではないか。

〈委員長〉

富岡委員にも協力いただいて、文学に関する事業について、逗子市文化振興基本計画策定・推進会議で検討してもらえないか。逗子には在住する文学人も多くいる。

以上で、本日予定した議事はすべて終了した。

3 閉会

以上